

第9回 グリ下会議資料

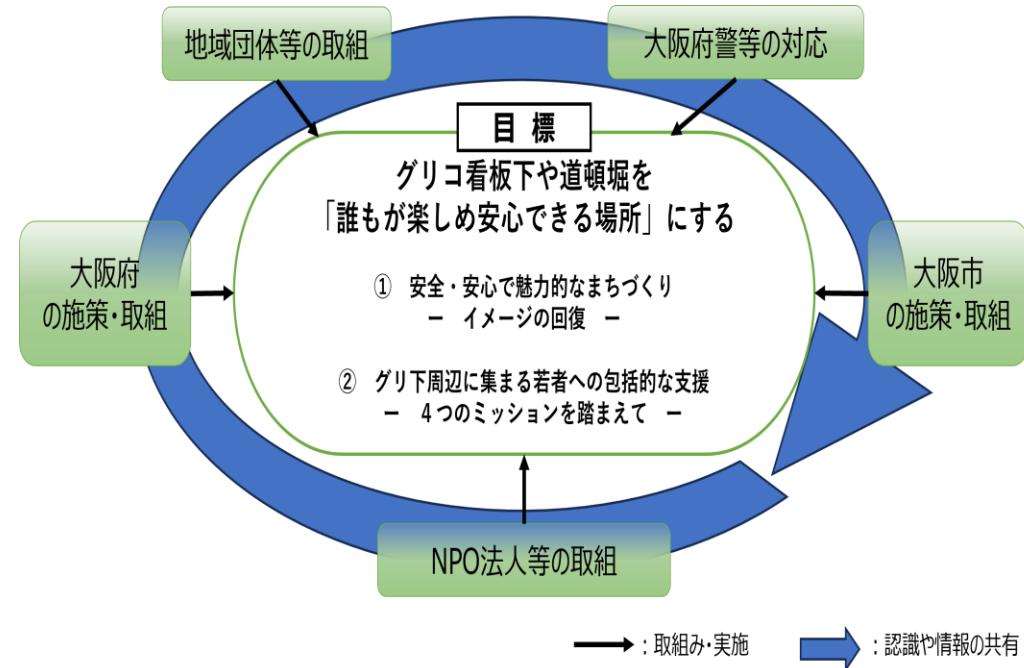
令和7年12月18日
グリ下会議事務局（中央区）

1 第8回グリ下会議の振り返り（1）

第8回会議にて確認した方向性

これまでの議論を受けて、グリコ看板下や道頓堀を「誰もが楽しめ安心できる場所」にするために、以下の2つの観点を持って取組を進めていく

- ① 安全・安心で魅力的なまちづくり
– イメージの回復 –
- ② グリ下周辺に集まる若者への包括的な支援
– 4つのミッションを踏まえて –



①・②いずれの側面においても、関係機関が様々な施策・取組が実施しており、それぞれの施策・取組の実施状況を共有しつつ、関係者の意見も丁寧に聞きながら、施策・取組を進めていくことが重要。

第8回会議では、主に大阪市の各機関が実施している施策を紹介し、共有した。

1 第8回グリ下会議の振り返り（2）【意見交換会】

第8回会議で提言された内容

認定NPO法人D×Pより

- ◆ 障がい福祉の支援の必要性がある若者が一定割合存在すると感じている
- ◆ 実際の支援の場面では、障がい分野との連携・情報共有も必要と感じている
- ◆ 今後、会議参加・情報提供も含め検討してほしい

令和7年11月21日、中央区役所で地域における障がい相談支援の中核的な役割を担う「中央区障がい者基幹相談支援センター」と「認定NPO法人D×P」の意見交換会を実施

認定NPO法人D×P意見抜粋

- 実態として中央区に住居をもたず、中央区に居場所を持っている子たちが多い。
- 障がい福祉のサービスの必要性がある若者が居住地域が不定の状態の場合、他区に住居を構えることが多く、中央区障がい者基幹相談センターに相談がしにくい。
- サービス利用前に、障がいのある方の相談に関わってもらうと良いと考える。

中央区障がい者基幹相談支援センター意見抜粋

- 障がいサービスについて、サービス利用前などにおいて困り事があれば、一般的な相談受付はいつでも可能
- 相談過程において、他区の障がい者基幹相談支援センターを利用することになった場合、本人同意のもと引き継ぎの情報提供・連携を行うことは可能

障がい分野の情報共有と支援連携を実施
今後も継続して連携していくことを確認

2 大阪市以外の関係機関の取り組み状況（1）

関連施策の取組状況

前回の会議では、「今後の対応のためにも、これまでの議論を踏まえた取組の実施状況や実績等を可視化して、共有し、横連携につなげる意識が重要。」との見解が共有されている。

大阪市の状況については前回会議で共有したので、今回は大阪府及び大阪府警の取り組みについて共有する。

実施主体	大阪府	事業名称	OSAKAしごとフィールド	所管所属	大阪府商工労働部 雇用推進室
概要	総合就業支援拠点「OSAKAしごとフィールド」では、年齢・状況に関わらず、「働きたい」と思っているすべての求職者に対し、一人ひとりに合わせた就職活動に関する情報の提供やキャリアカウンセリング等によるきめ細やかな支援を行うとともに、併設する大阪東ハローワークコーナーにおいて職業紹介を実施。				
実績	利用者数（延べ） 新規登録者数（実数） 就職者数（実数）	令和5年度 14,082 14,164 8,012	令和6年度 13,100 16,574 8,020		
グリ下会議との関連	グリ下会議での議論によるものではなく、従来から実施しているもの 第2回、第3回、第4回グリ下会議で施策を紹介				

実施主体	大阪府	事業名称	大阪府福祉基金	所管所属	大阪府福祉部子ども家庭局青少年支援課 (事業実施：大阪府福祉部地域福祉推進室地域福祉課)
概要	大阪府福祉基金を活用した認定NPO法人Homedoorへの助成				
実績	<ul style="list-style-type: none">R6年度 交付実績額500万円R7年度 交付決定額500万円				
グリ下会議との関連	グリ下会議での議論によるものではなく、従来から実施しているもの				

2 大阪市以外の関係機関の取り組み状況（2）

実施主体	大阪府警	事業名称	<ul style="list-style-type: none"> ・継続補導（立ち直り支援） ・資質調査（心理テスト） ・情報発信 ・街頭活動 ・少年相談活動 	所管所属	大阪府警本部 少年育成室
概要	別紙【資料2-2】参照		 <p>大阪府警察本部「少年育成室」による戎橋周辺の環境対策の概要</p> <p>1 既存の対策 少年育成室では、定期的な街頭補導活動のほか、非行傾向のある少年等について、学校や保護者、関係機関と連携しながら『継続補導少年』に対して心理テストや継続した面接指導を行い、立ち直り支援を実施しています。</p> <p>2 今年度の取組み（イベント等）</p> <p>(1) 相談窓口の拡充施策【7月18日】 既存の相談窓口『グリーンライン』について、相談ツールの拡充を図るため、府立都島高校の学生の協力を得て、グリーンラインにLINEで繋がるアカウントの『みるほろ君』を作成し、今夏から運用を開始しました。</p> <p>(2) 啓発イベントの開催【7月18日】 『つまずきそうなときは相談して欲しい』をテーマに、地元商店会や関連企業等の協力を得て、合同パトロールや、啓発イベントを実施しました。 江崎グリコ株式会社の協力により、「グリコサイン」にQRコードを全面表示していただき、啓発に繋げました。</p>  <p>3 継続補導少年による清掃活動及び高校生による吹奏楽演奏の開催【11月1日】 「ミナミまち育てネットワーク」による清掃活動「向島がタネ」と連携し、中央区魅力推進課等の協力を得て、ハロウィン翌週に、継続補導少年とともに戎橋周辺における清掃活動を実施しました。 さらに、清掃後のグリコサイン下で、府立高槻北高校吹奏楽部によるコンサートを実施して非行防止啓発を行いました。</p>  <p>4 今後の予定 本年12月19日（金）16時から、地元商店会、企業、墨造センター等の協力を得て、私立大蔵高等学校「和太鼓部」の演舞を基調とし、非行防止等啓発活動、地元住民との合同パトロール、相談窓口「みるほろ君」の啓発活動を実施予定です。 啓発品として「使い捨てカイロ」を配布し、「困った時には相談できる」といったメッセージを發信します。</p>  <p>▶ 戻橋周辺での少年非行を防止するため、警察は、地板、学校、企業と連携し、継続的な見回り活動等を継続していきます。少年の健全育成のため、引き続き各位と共に粘り強く取り組んで参ります。 以上</p> <p>- 2 -</p>		
グリ下会議との関連	グリ下会議での議論によるものではなく、従来から実施しているもの				